自転車による製品事故を防ごう!! 日頃の心掛けであなたも安心

製品事故を防ぐポイント、ご存知ですか

自転車を選ぶときには、品質・安全性についての安全基準をベースとした認証 (JISマーク、BAAマーク、SGマークなど)を参考に購入してください。









JISマーク

BAAマーク

スポーツBAAマーク

SGマーク

- 専門家による点検を受けましょう (初期点検・定期点検)※有料です
- ▶多くの製品事故が自転車の使用を始めて1年未満に発生しています。新しい自 転車を購入して1~2カ月のうちに販売店などで初期点検を受けてください。
- ▶取扱説明書を必ず読んでください。
- ▶販売店などで自転車技士、自転車安全整備士などによる 点検を受けましょう。
- ▶特に日常の点検で異常を発見した場合、転倒したりぶつ かったりした場合には必ず点検を受けましょう。

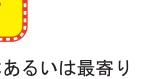


- ▶使用者が行う日常の点検として、取扱説明書に書かれてある項目をチェックし ましょう。裏面のチェック項目を参考に点検してみてください。
- ▶異常が見つかったら、すぐに販売店などで点検·修理を受けてください。
- こんな乗り方は危険! 安全使用のための講習を受けましょう





- 傘やステッキを車体につり下げて走らない。
- 発電機(ダイナモ)を足で操作しない。
- 差乗り越え時の衝撃には十分注意、**特に小径**



自転車の安全利用講習会に参加しましょう。詳しくは、自治体あるいは最寄り の警察署や交通安全協会に確認してください。

経済産業省商務流通グループ製品安全課製品事故対策室

TEL 03-3501-1707 ${\sf URL}\ \, {\sf http://www.meti.go.jp/product_safety/}$

NITE:製品安全センター製品安全調査課 TEL 06-6942-1113 URL http://www.jiko.nite.go.jp/

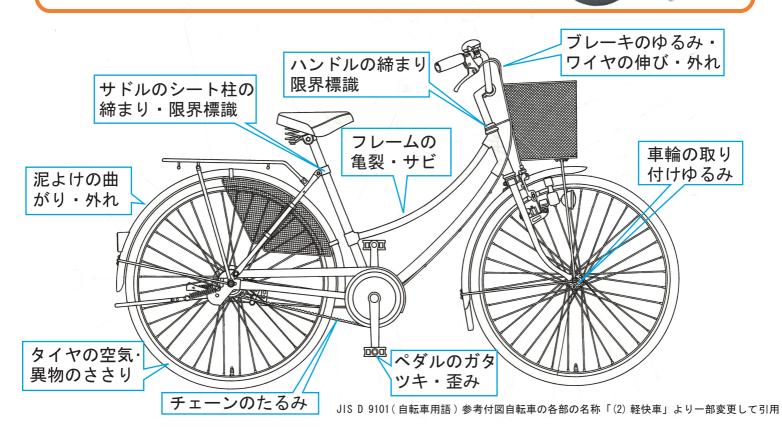
リコール情報、事故情報は記載のURLでご確認いただけます。



さあ!!点検しましょう あなたの自転車大丈夫ですか

- 安全使用のためのチェックリスト -

- □ 本体(フレーム)に亀裂やサビが発生していませんか。(フレーム破損、転倒)ペダルにガタツキや歪みがありませんか。(ペダル破損、転倒)
- □ 前輪・後輪のクイックレリーズやハブナットにゆるみがありませんか。(車輪 脱落、転倒)
- □ チェーンにたるみがありませんか、摩耗していませんか、サビついていませんか。チェーンケースに接触していませんか。(チェーン破断、転倒)
- □ ハンドル軸(ステム)のはめ合わせ限界標識が、隠れていて確実に締まっていますか。(ハンドル脱落、転倒)
- □ ブレーキレバー、ブレーキブロックの取り付けにゆるみがありませんか。ブレーキワイヤに伸びやサビ、外れはありませんか。(ブレーキ破損、衝突)
- □ 泥よけの曲がりや外れがありませんか。(泥よけ巻込み、転倒)
- □ サドルのシート柱(ポスト)のはめ合わせ限界標識が、隠れていて確実に締まっていますか。(サドル脱落、転倒)
- □ タイヤの空気圧は十分ですか。異物のささりはありませんか。(タイヤのパンク、リム外れ)
- □ 折り畳み自転車(右参照)は、折り畳み部が確実に固定されていますか。(可動部折れ、転倒)





▶ 整備不良車(例えば、ブレーキの装備されていないいわゆる 「ピスト車」等)は、公道では使用できません。